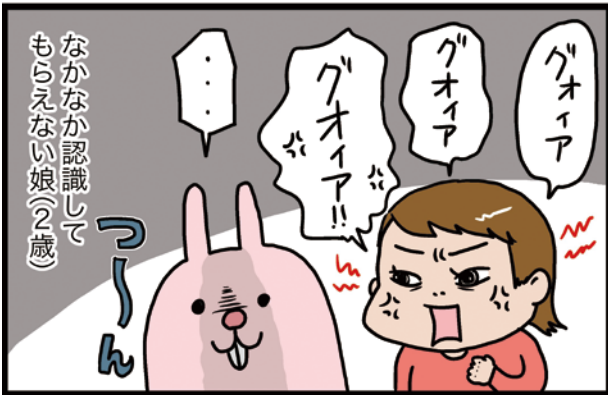


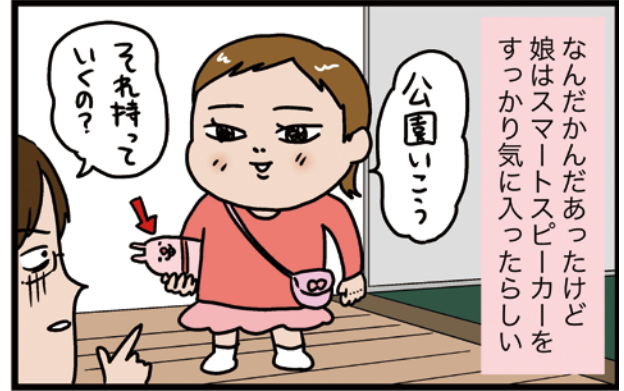
IT日和

イラスト 山本コウカ

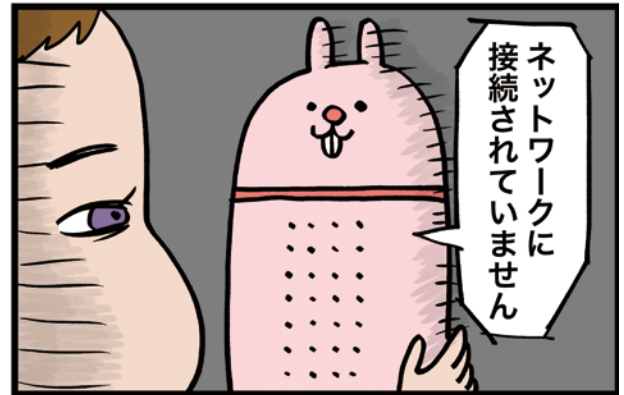
vol.37 スマートスピーカーと2歳児(その1)



vol.38 スマートスピーカーと2歳児(その2)



なんだかんだあったけど娘はスマートスピーカーをすっかり気に入ったらしい



● 論文誌ジャーナル掲載論文リスト

Vol.59 No.5 (May 2018)

【特集：情報システム論文】

- 特集「情報システム論文」の編集にあたって 深田秀実 他
- 教育用 Windows PC アプリケーション実行制御システムにおける複数の証明書チェーンを用いた例外的な実行許可 関根利一 他
- Development of A Web-based Front-end Environment to Aid Programming Lectures on Unix-like Systems Syunji Yazaki 他
- IoT マルウェアによる DDoS 攻撃の動的解析による観測と分析 鉄 穎 他
- Modeling Weather Context Dependent Food Choice Process Taku Ito 他
- アメリカンフットボールの可視化システムの開発及び選手のプレー分析に関する研究 山本雄平 他
- コミュニケーション支援に特化した在宅医療連携のための患者情報共有システムの情報共有機能の評価 山本理絵 他
- 企業等の IT 部門における ITIL 実践の CSF から成果へ至るモデルの構築 角田 仁 他

【一般論文】

- Access Control Mechanism to Mitigate Cordova Plugin Attacks in Hybrid Applications* Naoki Kubo 他
- プローブデータを用いたタクシーの個別営業戦略のモデル化と交通シミュレーションへの適用 金月寛彰 他
- Exploiting Multilingual Corpora Simply and Efficiently in Neural Machine Translation Raj Dabre 他
- バルト巻取りを用いた広帯域省エネルギー振動提示 中村拓人 他

*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note



● 論文誌トランザクション掲載論文リスト

(May 2018)

【論文誌 コンシューマ・デバイス&システム Vol.8 No.2】

- 特定の CAN メッセージを送信する ECU に対するバスオフ攻撃を利用したなりすまし攻撃 家平和輝 他
- 音声対話型 AI 帳票を実現する現場作業支援ソリューションの提案 田淵仁浩 他
- アプリケーションの不具合解析を効率化する自動運転向け ECU プラットフォームの検討 堀田勇樹 他
- Bluetooth over DTLS による IoT デバイスの遠隔制御システム 岡田真実 他
- センサ装着杖を介した歩行動作検出手法の提案 高橋雄太 他
- カーナビ連携車両制御のための経路情報変換の高信頼化 関口隆昭 他
- 車両のレーン変更を考慮した経路探索方式 丸 三徳 他
- 作業ロス要因分析のための拡張現実技術を用いた物流倉庫内可視化ツールの開発 松本紀子 他
- ユーザ利用実態調査に基づくスマートフォン利用モデル 神山 剛 他
- Promotion Condition Optimization based on Application Features in Generational GC of Smartphone Application Runtime RYUSUKE MORI 他



2018 年度定時総会の開催について

会長 西尾章治郎

2018 年度定時総会を下記により開催いたします。総会の案内状は、5 月中旬頃に法律上の社員である代表会員の方々にお送りいたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

総会の議事議決権は代表会員の方々がありますが、もちろん代表会員以外の正会員・名誉会員の皆様も、積極的に総会に出席してご発言いただきますようお願いいたします。

記

- 日 時 2018 年 6 月 6 日 (水) 15:00 ~ 16:45 頃
会 場 学士会館 (〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28)
次 第 1. 2017 年度に係る報告
2. 新名誉会員の推薦
3. 新役員の選任
4. 2018 年度に係る計画 (報告)
5. 会費滞納会員の取り扱い (報告)
6. 表彰 (功績賞ほか)

※総会終了後、講演会と交流会を行います。皆さまのご出席をお待ちしております。

照会先 一般社団法人情報処理学会管理部門



今月の会員の広場では、3月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「日本の未来のためにいかにして研究開発を活性化するか」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■日本の大学・高専在籍の研究者はいろいろな事由で研究に集中できない環境であるように感じたし、それをこの会誌から発信していくことには非常に大きな意義があるように感じた。(匿名希望/ジュニア会員)

■個人の意見を一般論として述べるのはやめてほしい。読者が誤解する恐れがある。非常に不快であった。(匿名希望)

■論点のピントがずれている気がした。(匿名希望)

■本当に久しぶりに西和彦さんの思いに直接触れることができ、一種懐かしさのようなものを感じました。(阿部一晴)

小特集「LSIの配線問題」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■重要ではあるが40年以上前から続く古典的問題であり、我が国の多くの半導体産業が撤退する状況で「なぜ今？」との違和感を持った。(南谷 崇)

■1つの問題に何通りもの解答を集めたこの特集は、今までで一番面白かった。(匿名希望/ジュニア会員)

「1. LSIの配線問題と解法コンテスト」

■トップ記事が読みやすく、理解しやすかったのがよかった。(匿名希望)

■大変分かりやすく書いてあったため、理解することができました。(匿名希望)

「2. 機械学習とFPGAを用いた配線問題解法への取り組み」

■機械学習を用いた手法や、FPGAを用いた解法は初めて知りました。ASIC等の専用ハードウェアを使用した解法等も考えられているのでしょうか。(匿名希望)

連載「会誌編集委員会女子部」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「読者の声」欄に掲載されている我々のアンケートが会誌編集に大きくかかわることができていることが分かり、非常に好感のもてる幕切れであったように思います。(匿名希望/ジュニア会員)

■私は男性だが、モニタコメントでは女子部に風当たりが強かったという意見が多くて、本当に残念に思う。記事中にはマイノリティについても書かれていたが、国際会議に行くと自分が日本人というマイノリティであることを痛感するし、ほかの参加者のさまざまな配慮によって、気持ち良く参加することができていると感じていた。対して、私の参加した国内研究会はまだまだ十分な配慮ができている状況ではないことを残念に感じていた。(匿名希望)

学会活動報告「IFIP—情報処理国際連合—近況報告」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■各領域でのトレンドみたいな話もあってほしかった。(三木清一)

教育コーナー「べた語義」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

「千葉県公立高等学校情報科教員の現状」

■情報専門の教員が不足していることがよく分かりました。(匿名希望)

「プログラミング入門をプロジェクトでやってみた」

■改善後の具体的な授業内容を知りたいと思った。また、プロジェクトのゴール設定は重要だと感じた。(匿名希望)

学会活動報告「新会員管理システム構築に向けた取り組み」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■手法だけでなく内容に踏み込んだ記載がもっとあると、会員各位の学会運営に対する理解が深まってよいのではと思いました。(匿名希望)

連載「ビブリオ・トーク：翻訳できない世界のことば」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ぜひ手にとって読んでみたいと思わせる語り口で、むしろ本会会員の多くはこういう楽しい言葉の本が好みではないかと思えてくる優れた紹介。(南谷 崇)

連載漫画「IT日和」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■内容は良かったが、目次から場所が分からなかった。(山田俊輔/ジュニア会員)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

「ほっとタイム：編集委員退任にあたって」

■熱意が感じられ、会誌「情報処理」への関心が高まった。
(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■教育関係の記事がもっと読みたいです。(匿名希望)

■会誌電子版だけの会員を設けていただければ、iPad だけ持ち歩けばどこでも読めるし、紙の処分にも困らないので、ありがたく存じます。(奥村晴彦)

■冊子の紙質が最近変わりましたが、若干読みにくくなったと感じるのは私だけでしょうか。(匿名希望)

■ジュニア会員向けの書籍の紹介とか勉強の仕方の記事を読みたいです。(匿名希望/ジュニア会員)

■今月号はリニューアル前と同じように難しく感じたのが残念だった。(匿名希望/ジュニア会員)

■小中高での教科「情報」の授業に関して、地域の企業の取り組み・協力について統計的な調査研究を取り上げてほしいです。(匿名希望)

■会誌が薄くなっている(内容が少ない)ように感じた。(匿名希望/ジュニア会員)

■その号の特集の内容にかかわらず大学や高専、企業の方の研究紹介をするページがあってもよいと思う。
(澤 佳祐/ジュニア会員)

■情報処理とはまったく関係のない人から見た情報処理のイメージや個々の技術に期待する点の話を聞けるとうれしい。
(匿名希望)

■ブロックチェーンが今後業界に与える影響の範囲について取り上げてほしい。(梅田直希/ジュニア会員)

■特集の最初の解説(編集にあたって)で説明がきちんととされていると、特集を読もうという気になります。
(匿名希望)

■本会の研究会の活動報告等も読んでみたいです。
(匿名希望)

■会誌のサイズがコンパクトになり、保管や持ち運びがしやすくなっているように思います。(匿名希望)

■今後取り上げてほしいテーマ:IT業界の働き方改革(動向、先進的取り組み、課題など)。(匿名希望)

■今月号は全般的に注目した記事が少なかった。
(伊藤康彦)

【本欄担当 山本岳洋, 花田英輔/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>> にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらでも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もより良い会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。 <URL : <https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「若手研究者」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-K.html	5月30日(水)		
	論文誌「レジリエントな情報システム構築によるインターネットと運用技術」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-J.html	6月18日(月)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-E.html	8月1日(水)		
	論文誌「情報システム論文」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-M.html	8月10日(金)		
5月16日(水)	第184回システムとLSIの設計技術研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm184.html	3月15日(木)	当日のみ	北九州国際会議場
5月17日(木) ~ 5月18日(金)	第81回コンピュータセキュリティ・ 第41回インターネットと運用技術合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec81iot41.html	3月15日(木)	当日のみ	富山商工会議所
5月18日(金) ~ 5月19日(土) 5月21日(金)	第58回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi58.html 関西支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2018.html	4月3日(火)	当日のみ	KDDI大手町ビル NICTイノベーションセンター 京都リサーチパーク
5月21日(金)	九州支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2018.html			NTTデータ九州 (福岡県博多市)
5月21日(月)	2018年度関西支部記念講演会 http://kansai.ipsj.or.jp/2018houkokukai/		5月7日(月)	京都リサーチパーク ルーム2(西地区4号館2F)
5月21日(月) ~ 5月22日(火)	第143回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os143.html	4月4日(水)	当日のみ	ホテルモントレ 沖縄スパ&リゾート
5月24日(木) ~ 5月25日(金)	第175回マルチメディア通信と分散処理・ 第87回モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム・ 第73回高度交通システムとスマートコミュニティ合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps175mbl87its73.html	3月15日(木)	当日のみ	イーフ情報プラザ (沖縄県島尻郡)
5月25日(金) ~ 5月26日(土) 5月28日(月)	第168回アルゴリズム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al168.html 東海支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2018.html	3月16日(金)	当日のみ	名古屋工業大学 ルプラ王山 (愛知県名古屋市) 一橋講堂
5月28日(月) ~ 5月30日(水)	The 2nd. cross-disciplinary Workshop on Computing Systems, Infrastructures, and Programming (xSIG 2018) http://xsig.hpcc.jp/2018/	2月16日(金)		
5月30日(水)	中国支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2018.html			広島交流プラザ(予定)
5月31日(木) ~ 6月1日(金)	第80回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip80.html	4月6日(金)	当日のみ	情報セキュリティ 大学院大学
5月31日(木) ~ 6月1日(金) 6月1日(金)	第22回コンシューマ・デバイス&システム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cds22.html 四国支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2018.html	4月16日(月)	当日のみ	島根大学 松江キャンパス 高知工科大学 永国寺キャンパス
6月2日(土)	第144回情報システムと社会環境研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is144.html	4月9日(月)	当日のみ	武蔵大学 江古田キャンパス
6月6日(水)	2018年度定時総会 http://www.ipsj.or.jp/topics/soukai20180606.html			学士会館
6月7日(木) ~ 6月8日(金)	第119回プログラミング研究発表会 https://sigpro.ipsj.or.jp/pro2018-1/	4月6日(金)	当日のみ	岐阜大学 サテライトキャンパス
6月7日(木) ~ 6月8日(金) 6月9日(土)	第101回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm101.html 第145回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce145.html	4月16日(月)	当日のみ	定山溪ビューホテル
6月13日(水) ~ 6月15日(金)	第118回数理モデル化と問題解決・ 第54回バイオ情報学合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps118bio54.html	4月30日(月)	当日のみ	中京大学 名古屋キャンパス 沖縄科学技術大学院大学 カンファレンスセンター
6月14日(木) ~ 6月15日(金)	第178回ヒューマンコンピュータインタラクション・ 第48回エンタテインメントコンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci178ec48.html	4月13日(金)	当日のみ	東京大学弥生講堂
6月14日(木) ~ 6月15日(金)	第223回システム・アーキテクチャ研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc223.html	4月13日(金)	当日のみ 宿泊申込は 5月14日締切	蔵王温泉 たかみや瑠璃 倶楽リゾート
6月15日(金) ~ 6月16日(土)	第25回教育学習支援情報システム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle25.html	5月1日(火)	当日のみ	北海道大学
6月16日(土) ~ 6月17日(日) 6月20日(水)	第119回音楽情報科学・第122回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus119slp122.html 東北支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2018.html	4月19日(木)	当日のみ	東京大学 本郷キャンパス 東北大学
6月21日(木)	第170回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg170.html	5月23日(水)	当日のみ	山形テルサ 1階大会議室
6月25日(月)	連続セミナー 2018 第1回 「フィールドロボットの知能化技術開発と実用化の動向」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2018/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学
6月28日(木) ~ 6月29日(金) 6月29日(金) ~ 6月30日(土)	インターネットと運用技術研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot42.html 第48回組込みシステム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/emb48.html	4月23日(月)	当日のみ	鹿屋体育大学
		5月8日(火)	当日のみ	東海大学 高輪キャンパス

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
6月29日(金)～ 6月30日(土)	第40回ゲーム情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi40.html	5月14日(月)	当日のみ	高知工科大学 永国寺キャンパス
7月4日(水)～ 7月6日(金)	マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO2018) シンポジウム http://dicomo.org/	3月20日(火)	6月4日(月)	福井県原温泉清風荘
7月6日(金)～ 7月7日(土)	第192回知能システム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics192.html	5月15日(火)	当日のみ	北海道大学 情報科学棟
7月17日(火)～ 7月18日(水)	第102回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm102.html	5月9日(水)	当日のみ	東京理科大学 神楽坂キャンパス
7月18日(水)～ 7月20日(金)	第199回ソフトウェア工学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se199.html	5月15日(火)	当日のみ	帯広市 とかちプラザ
7月19日(木)	連続セミナー 2018 第2回 「『EV化+完全自動運転+モビリティサービス』の必然性、 開発状況、今後の方向性を全解説」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2018/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学
7月30日(月)	第119回数理モデル化と問題解決研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps119.html		当日のみ	Luxor "MGM Resorts International" (ラスベガス)
8月2日(木)～ 8月3日(金)	Workshop on Curling Informatics (WCI) http://nlp.cs.kitami-it.ac.jp/curlingJP/workshop/	5月10日(木)	当日可	北見工業大学
8月29日(水)～ 8月31日(金)	DA シンポジウム 2018 —システムとLSIの設計技術— http://www.sig-sldm.org/das/	6月8日(金)		山代温泉 ゆのくに天祥
8月30日(木)～ 8月31日(金)	組込みシステムシンポジウム 2018 (ESS2018) http://www.sigemb.jp/ESS/2018/			下呂温泉水明館
9月3日(月)～ 9月5日(水)	The 13th International Workshop on Security (IWSEC2018) http://www.iwsec.org/2018/			東北大学 片平さくらホール
9月5日(水)～ 9月7日(金)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2018 (SES2018) http://ses.sigse.jp/2018/			東洋大学 白山キャンパス
9月7日(金)～ 9月11日(火)	連続セミナー 2018 第3回 「セキュリティ～サイバーインシデントに備える～」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2018/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学
9月19日(水)～ 9月21日(金)	FIT2018 第17回情報科学技術フォーラム https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2018/			福岡工業大学
9月27日(木)～ 9月28日(金)	平成30年度(第71回)電気・情報関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月10日(火)		大分大学 旦野原キャンパス
9月30日(日)	2018年度関西支部 支部大会 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2018/	6月15日(金)		大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島4-3-53)
10月3日(水)	連続セミナー 2018 第4回「エッジコンピューティングの課題と未来」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2018/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学
10月5日(金)～ 10月8日(月)	The 11th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU 2018) http://www.icmu.org/icmu2018/			Unitec Institute of Technology
11月27日(火)	連続セミナー 2018 第5回 「人工知能時代のコンピューティング基盤」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2018/index.html		定員になり次第	一橋講堂中会議室/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学
12月4日(火)～ 12月7日(金)	25th Asia-Pacific Software Engineering Conference (APSEC2018) http://www.apsec2018.org/			奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～
12月12日(水)	連続セミナー 2018 第6回 「人工知能時代のソフトウェアエンジニアリング」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2018/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学
2019年				
1月21日(月)～ 1月24日(木)	24th Asia and South Pacific Design Automation Conference (ASP-DAC 2019) http://www.aspdac.com/aspdac2019/			日本科学未来館
3月14日(木)～ 3月16日(土)	情報処理学会 第81回全国大会 https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/81/			福岡大学 七隈キャンパス

Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 4月15日 人材募集情報 (Vol.59 No.5)
- 4月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.59 No.5)
- 4月10日 「デジタルプラクティス」アプリの終了と統合のお知らせ
- 4月6日 論文誌「情報システム論文」特集 論文募集
- 4月2日 2018 年度役員改選の投票結果について
- 4月2日 [プレスリリース] 2018 年度認定情報技術者 (CITP) 企業認定の審査日程のお知らせ
- 4月2日 代表会員名簿 (2018 年度)
- 4月1日 2018 年度シニア会員申請のご案内 (締切: 7/31 迄)

人材募集 (有料会告)

申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書に記載する「宛名」, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ, E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料: 国公立教育機関, 国公立研究機関 税抜 20,000円 (税込 21,600円)

賛助会員 (企業) 税抜 30,000円 (税込 32,400円)

賛助会員以外の企業 税抜 50,000円 (税込 54,000円)

*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 税抜 4,000円 (税込 4,320円) で同一内容を本誌 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部 (有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし3日以内(土日祝日除く)に返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■国立情報学研究所

募集人員 准教授, 助教 あわせて若干名

(任期は5年間。教授採用を考慮する場合もある。なお, 採用後, 優れた業績を出された場合は, 昇任または任期のない職への任用を行う場合があります)

研究開発分野 ①情報学プリンシプル研究分野, ②アーキテクチャ科学研究分野, ③コンテンツ科学研究分野, ④情報社会相関研究分野

応募資格 原則として博士の学位取得または取得見込みの方 (人文・社会科学系の研究者にあつては, これに準ずる方を含む)

着任時期 原則として2019年4月1日

提出書類 (1) 履歴書, (2) 研究業績 (論文, 著書リストおよび主要業績3編について, 別刷 (コピー可) 各3部), (3) 学会における活動状況, (4) 職域における活動状況, (5) 社会における活動状況, (6) 推薦書/照会先, (7) 就任後の抱負: 任意の様式による (2,000字程度)。このうち (1) から (5) は後述の Web ページから所定様式をダウンロードし, その様式に従って作成してください。なお (6) と (7) は自由形式とします

応募締切 2018年5月31日 (必着)

送付先 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

「情報・システム研究機構国立情報学研究所長」宛

「応募書類在中 (研究教育職員)」と朱書き, 書留郵便等, 配達証明相当がある方法にて送付のこと

照会先 国立情報学研究所 情報社会相関研究系・教授 佐藤一郎 E-mail: koubo2018@nii.ac.jp

その他 書類審査および面接による。面接は書類審査合格者を対象とし, これにかかわる旅費, 宿泊費等は自己負担となります。また, 応募書類は返却しません

応募にあたっては, 必ず国立情報学研究所 研究教育職員 公募要領の Web ページ (<http://www.nii.ac.jp/about/recruit/>) に従って, 提出書類を作成・送付してください

■福井工業高等専門学校

募集人員 教授 1名 (電子情報工学科)

専門分野 情報ネットワークに関する分野

担当科目 情報工学全般, 電気電子工学に関する基礎科目など

応募資格 高専の教育に情熱があり, 学科の運営などに, 長く積極的, 協動的に参画できる方。博士の学位か技術士の資格もしくはこれらと同等の実績のある方

担当科目, 応募資格, 提出書類の詳細については, Web ページ (<https://www.fukui-nct.ac.jp/others/recruitment/>) をご覧ください

着任時期 2019年4月1日

応募締切 2018年7月9日 (必着: 期間延長の場合あり)

送付先 〒916-8507 福井県鯖江市下司町

福井工業高等専門学校 総務課人事係

照会先 福井工業高等専門学校 電子情報工学科科長

青山義弘 E-mail: yfa@ei.fukui-nct.ac.jp Tel(0778)62-8272



FIT2018 第 17 回情報科学技術フォーラム 講演募集

会 期：2018年9月19日（水）～21日（金）

会 場：福岡工業大学（福岡市東区和白東3-30-1）

FIT2018 Web ページ <https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2018/>

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ (ISS) 並びにヒューマンコミュニケーションングループ (HCG) と情報処理学会 (IPSJ) とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2018年9月には第17回を福岡工業大学で開催します。皆様の研究成果発表の場として論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

●申込主要日程

登録申込/投稿受付開始：2018年4月10日（火） → 登録申込締切：2018年6月7日（木）

最終掲載原稿：2018年6月29日（金）

●表彰

FITには、以下の表彰制度がありますので是非ともチャレンジして下さい。

いずれの賞も、電子情報通信学会又は情報処理学会の会員であることが受賞条件となりますのでこの機会に是非御入会下さい。

船井ベストペーパー賞	選奨論文の中から、FIT 学術賞選定委員会で審査の上 3 件選定。賞金は船井情報科学振興財団より 20 万円贈呈。
FIT 論文賞	選奨論文の中から、FIT 学術賞選定委員会で審査の上 7 件程度選定。賞金は FIT 運営委員会より 5 万円贈呈。
FIT ヤングリサーチャー賞	2018 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者（選奨論文および一般論文）の中から、講演件数の 1.5% を上限として選定。賞金は FIT 運営委員会より 3 万円贈呈。本賞受賞は本人に対し一回のみ。
FIT 奨励賞	一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を 1 件その場で選定（該当なしもあり）。FIT 終了後に賞状を贈呈。

●選奨論文（4～8 ページ程度）

FIT2017 より査読付き論文は廃止とし選奨論文を取り入れました。船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞への審査を希望する場合は、Web からの講演申込みの際に必ず論文形式で『選奨論文』を選択して下さい。但し、賞を前提とした論文形式となりますので、電子情報通信学会又は情報処理学会の会員であることが投稿条件となります。選奨論文は FIT 初日の選奨セッションで発表頂きます。

※4 ページ以上の投稿が必須ですが、3 ページ目からは追加ページ代（4,000 円/ページ）が発生します。例えば 6 ページ投稿の場合、4 ページ分の追加ページ代が発生しますので、講演参加費のほかに「4,000 円×4＝16,000 円」の追加費用が必要となります。

●一般論文（2～8 ページ程度）

研究会取り扱い分野をよく御確認のうえ御自身の論文内容と一致した研究会を、申込者御自身の責任において適切に選択して下さい。

●既発表論文紹介（半ページ程度から最大 2 ページまで）

FIT2018 より既発表論文紹介の 카테고리 を導入します。ご自身(共著者含む)が他国際会議等で既に発表された論文を紹介される場合はこちらを選択して下さい。但し論文原稿を投稿することはできません。論文集にはタイトルと著者名、発表会議と紹介文が掲載されます。また、タイトルに【既発表論文紹介】などの注釈をつけ、一般論文と区別がつくように配慮します。賞の対象とはなりません、業績の紹介や議論の場としてご利用下さい。

●講演募集内容

選奨論文と一般論文は、最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のあるものに限ります。二重投稿にならないよう、また、著作権の問題がないようご配慮下さい。既発表論文紹介はご自身(共著者含む)が既に他国際会議等で発表された最近の論文に限ります。申込時は元論文のタイトル、著者名、発表会議とアブストラクトを投稿頂きます。最終原稿提出時には、紹介文（日本語も可）を掲載頂きます。予め全共著者の同意を得たうえで申し込み下さい。

●論文誌推薦制度

選奨論文の中から船井ベストペーパー賞の審査を通して優秀な論文と判断されたものを、FIT プログラム委員会が電子情報通信学会または情報処理学会 (FIT 講演申込フォームの講演応募分野 (研究会) で選択した研究会が属する学会) の論文誌へ推薦します。掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定しますので、論文誌への投稿の際には、投稿先論文誌編集委員会の評価基準を満足しうる、完成度の高い論文に仕上げて頂くことをお勧めします。なお、推薦を辞退することも可能です。

●募集分野

取り扱い分野の詳細は FIT2018Web ページにてご確認下さい。

●講演参加費（税込み）

講演参加費は、基本原稿掲載料 2 ページ分、講演料、聴講料、電子版論文集、冊子プログラムの代金を含みます。なお、FIT2018 より DVD 論文集は Web からダウンロードして頂く電子版論文集になります。FIT 開催 1 週間前にメールにて案内をお送りする予定です。冊子プログラム、参加章は会場でのお引き渡しとなります。

	選奨論文・一般論文	既発表論文紹介
会 員：		
正員	12,000 円	10,000 円
学生員	6,000 円	5,000 円
非会員：		
一般(社会人)	24,000 円	20,000 円
学生	12,000 円	10,000 円

追加ページ代：4,000 円/1 ページ（3 ページ以上投稿された場合）

※会員の費用が適用されるのは、電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会 (IEIE、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE) または情報処理学会と協定を締結した海外の学会 (ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI) の個人会員に限ります。※登録申込締切後に講演の取消をされても講演参加費等はお支払い頂くこととなりますので御注意下さい。

●申込みの方法・注意事項

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2018Web ページよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、お申込み件数分の講演参加費が必要となります。また、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数などの制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

●問合せ先 (FIT2018幹事学会)

105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

電子情報通信学会 大会・研究会部 TEL. [03] 3433-6691 FAX. [03] 3433-6659 E-mail:ieicefit@ieice.org

2018 年度 情報処理学会シニア会員申請のご案内

本会は、2014 年度より情報処理分野において継続的な貢献が認められ、学会活動を通して本会の発展に寄与する正会員に対し、将来にわたって引き続き学会活動の中心となつて、学会の発展、ひいては社会への貢献をいただくという趣旨のもと、「情報処理学会シニア会員制度」を設けております。

シニア会員の申請有資格者様におかれましては、本制度の内容をご確認の上、ぜひとも申請をいただき、本会シニア会員として今後もなお一層の積極的な学会活動、ご活躍をいただければ幸いです。多くの方からの申請をお待ちしております。

2018 年度シニア会員申請および申請手続き要項

以下の要項をご確認の上、学会 Web サイト内のシニア会員 Web ページより、「シニア会員申請フォーム」に申請書類を添付して事務局までご送付ください。また、事務局シニア会員担当あて電子メール、および郵送での申請も受け付けております。

Web ページ	https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/seniormember/seniormember.html
申請対象者	2018 年 4 月 1 日現在で正会員として連続 5 年以上在会の方が対象です。 *年齢不問、学生会員としての在会期間は対象外です。
申請受付締切	2018 年 7 月 31 日 (火) まで
申請書類	シニア会員申請書 1 通 シニア会員推薦書 2 通 (推薦書は 2 名分必要です)
申請方法 (①～③いずれかの方法で申請してください)	<p>申請は自己申告による申請と第三者申告による申請がございます (詳細は Web ページをご確認ください)。</p> <p>■自己申告の場合の申請方法</p> <p>① Web サイト申請フォームから申請</p> <ol style="list-style-type: none"> 上記 Web ページより「シニア会員申請書」をダウンロード、必要事項を記入してください。 推薦者に該当する 2 名の方より「シニア会員推薦書」を入手してください。 「申請書」、「推薦書」、「推薦書」の順に計 3 ページ分を PDF にて 1 つのファイルにまとめてください。 上記 Web ページ内の「シニア会員申請フォーム」に必要事項をご入力頂き、3. で作成したファイルを添付して受付期間内に申請してください。 <p>② 電子メールで申請 soumu@ipsj.or.jp あてのメールに必要事項をすべて入力済みの「申請書」1 通、「推薦書」2 通を添付してお送りください。</p> <p>③ 郵送にて申請 事務局管理部門シニア会員担当へ必要事項をすべて記載した「申請書」1 通、「推薦書」2 通 (いずれもサイズは A4 判) をお送りください。</p> <p>①, ②, ③とも事務局にて受付後、受付完了メールを申請者・推薦者にお送りしますのでご確認ください。</p> <p>■第三者申告の場合の申請方法</p> <p>【申告者 (推薦者)】 第三者による申告の場合、申告者 (推薦者) は次項 1～6 のいずれかに該当する本会員に限ります。また、申告者は推薦者の一人となります。</p> <p>① Web サイト申請フォームから申請</p> <p>② 電子メールで申請</p> <p>③ 郵送にて申請 いずれも自己申請の場合と同様。</p>
推薦者	<p>推薦者は下記 1～6 のいずれかに該当する方です。2 名の方から推薦書をいただいでください (推薦者は上記 Web ページにて確認できます)。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本会名誉会員 2. 本会フェロー 3. 本会役員及び役員経験者 4. 本会支部長及び支部長経験者 5. 本会研究会主査及び研究会主査経験者 6. 本会シニア会員
審査方法	<p>申請書類に基づき、本会総務財務運営委員会で審査を行い、理事会へ諮ります。</p> <p>【審査基準】 本会関連分野の技術者、科学者、教育者、技術管理者で、連続して 5 年以上本会正会員として在会しており、本会の諸活動の支援および諸事業において、貢献が認められる方。</p>
結果連絡	<p>2018 年 10 月ごろ、申請書に記載のメールアドレスへ審査結果を連絡します (審査状況によっては日程が変更になる可能性があります)。</p> <p>申請が認定された方は、本会 Web ページにお名前を掲載し、後日「シニア会員認定証」を会誌発送先の住所へお送りします。</p>

申請・照会先：〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

情報処理学会事務局 管理部門 シニア会員担当

TEL：03-3518-8374 e-mail: soumu@ipsj.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページ または 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	50,000 円 (税込 54,000 円)
			1/2 ページ	30,000 円 (税込 32,400 円)
			1/4 ページ	20,000 円 (税込 21,600 円)
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000 円 (税込 21,600 円)
			賛助会員（企業）	30,000 円 (税込 32,400 円)
			賛助会員以外の企業	50,000 円 (税込 54,000 円)
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円 (税込 4,320 円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
 * なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

新規会員
募集中

一般社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

■活動の概要

- 出版活動（学会誌「情報処理」、論文誌、デジタルプラクティス、単行本の発行）、電子図書館への掲載
- 各種行事の開催（研究発表会、全国大会、FIT（情報科学技術フォーラム）、シンポジウム、連続セミナー、ソフトウェアジャパン他）
- 教育活動（大学の標準カリキュラム策定、JABEE 認定審査、認定情報技術者（CITP）認証、教員免許更新講習）
- 国際交流（IFIP への加盟、海外学協会との提携）
- 標準化活動
- その他の活動（各種提言・コンピュータ博物館の運営・情報処理技術遺産の認定・表彰・支部活動他）

■会員になるには

入会金（正会員のみ）と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証（賛助会員除く）をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

- 名誉会員：当学会の活動において特別な功績があり、総会で推薦された個人
- 正会員：当学会の目的に賛同して入会した個人で、当学会の中心的会員
- 学生会員：学校に在学中の個人
- ジュニア会員：小学生～大学学部3年生以下の学生（会費無料）

賛助会員

当学会の活動をサポートする団体または個人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。

1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます（ジュニア会員は電子版のみ）。

特集：人流シミュレーション／「ロボットは東大に入れるか」という企て／ソフトウェア工学の最前線／農業 ICT／情報教育とワークショップ／IoT 時代のセーフティとセキュリティ／ACM チューリング賞 50 周年記念大会／プログラミング・エクスペリエンスの新潮流／デジタルゲリマンダとは何か／ファイルシステムとストレージ／私たちの未来／脳情報科学が拓く AI と ICT／スマホプログラミング／進化し続けるコンピュータ将棋 他

2 実務の現場で IT を実践する皆様に向けた論文誌「デジタルプラクティス」を年 4 回発行しています（電子版のみ）。

特集：社会に浸透する画像認識（4 月刊行）／IoT システムと組み込み技術（7 月刊行）／デザイン・アートと ICT の融合によるサービスのイノベーション（10 月刊行）／オープンデータを活用した新しい社会（1 月刊行）

3 電子図書館で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

4 「連続セミナー」に会員価格（7,000 円お得）で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2017 年度は「イノベーション最前線：2020 年を超えて生き抜くための技術を探る」をテーマに、6 回開催しました。

5 ホットピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」（5,000 円以上お得）や「研究会」に会員価格で参加できます。

3D プリンタ、Bit Coin、Fintech、GPS、IoT、ITS、アクセシビリティ、暗号、インターネット、ウェアラブル、組み込みシステム、クラウド、ゲーム、自動運転、障害者支援、シンギュラリティ、人工知能、スマート社会、セキュリティ、ソーシャルネットワーク、ダイバーシティ、データマイニング、ドローン、バイオ、ビッグデータ、ユビキタス、量子コンピュータ、ロボット、ディープラーニング

6 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、日本のコンピュータ史等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。



2017 年度

ホット
トピックス

お問い合わせは、
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

CONTENTS

Preface

- 498 **My First Encounter with Computer and the Speed of Change in Technology**
Mieko NAKABAYASHI (Waseda Univ.)

Special Article

- 500 **Curling and Artificial Intelligence (AI)**
Masahito YAMAMOTO (Hokkaido Univ.), Takeshi ITO (The Univ. of Electro-Communications), Fumito MASUI (Kitami Institute of Technology) and Hitoshi MATSUBARA (Future Univ. Hakodate)

Special Features

University Originated ICTVentures

- 506 **0. Foreword**
Makiko NAKATA (mplusplus Co., Ltd.)
- 508 **1. Present Status of University-originated ICT Ventures and Challenges University-originated Ventures Face**
Shuichi MATSUDA
- 514 **2. Human Outsourcing and Social Economic System - The Era of Strategic and Venture Management -**
Kazuhiko KONISHI
- 518 **3. A Comparative Study of University-startups in Japan and US - Why Do Not Students' Entrepreneurs Exist in Japan Like Zuckerberg and Bill Gates? -**
Yukio KIMURA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))
- 523 **4. Challenge of University Startups in Japan**
Shigeru URUSHIBARA (UL Systems, Inc.)
- 527 **5. Before Starting an University Startup Companies**
Yoshihiro KAWAHARA (The Univ. of Tokyo)
- 531 **6. Starting University Startups**
Nobuo KAWAGUCHI (Nagoya Univ.)
- 534 **7. How to be a Student Entrepreneur - Welcome to a Lifestyle Business, Not Startup -**
Hiroyuki FUJIWARA (Solution Crew, Inc. / TOTEC AMENITY Ltd. / TOTEC Cybersecurity Lab.)
- 536 **8. Excitement in Search of The Next Big Thing**
Takashi KATO (Fracta, Inc.)
- 538 **9. Experience of a Startup as Founder and Being Employed at a Big Company**
ReyesTatsuru SHIROKU (UCSC Silicon Valley Extension)

- 540 **10. The Challenge to the Possibility of Handwritten Character Recognition**
Masanobu HORIGUCHI (ILABO Co., Ltd.)
- 542 **11. Trying to always be a President - A Key that I got through My 13 years' Struggle of Leading a University-oriented Venture Company**
Yutaka SAKANE (ExaWizards, Inc.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 505 **Addition of Right Time Capabilities to the Real Time Communication**
Kenji SUZUKI (Kennisbron Co., Ltd.)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

- 544 **2017 Nomination of the Information Processing Technology Heritages**
Hiroharu ASAHII (Secretary of the Committee of History of Computing)

"Peta-gogy" for Future

- 551 **Problems of the Data Quality in the University for Institutional Research**
Naohiro CHUBACHI (Teikyo Univ.)
- 552 **Utilize Ideathons and - Hackathons to Foster Creative Confidence Based on an Example of the Co-creation Project "Ashita Lab UNIVERSITY " by Students and Social Workers**
Junko HAMADA (Fujitsu Ltd.) and Akihiro KUROKI (Fujitsu Research Institute)
- 557 **Second Symposium of Research Project on Evaluation Methods for the Subject Area "Information" on University Admission**
Yoshiki SHIMOTSUMA (Information Processing Society of Japan)

-
- 562 **Biblio Talk**
 - 564 **Skimming a Famous Paper in Five Minutes**
 - 566 **Regular Column**
 - 568 **Conference Report**
 - 570 **Conference Report**
 - 571 **Conference Report**



ご意見をお寄せください！

【6月10日頃までにお出ください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員）(g) その他…………… 4- []
- (5) 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員）(j) その他…………… 5- []
- (6) 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- []
- (7) 性別：(a) 男性 (b) 女性…………… 7- []
- (8-1) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ…………… 8-1- []
- (8-2) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 8-2- []
- (9) どちらの媒体で記事をお読みになりましたか？
(a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館）(c) App Store (d) fujisan (e) その他…………… 9- []
- (10) 今月号（2018年6月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：コンピュータとの出会いと変化のスピード…………… 10-1- []
- 特別解説：カーリングと AI…………… 10-2- []
- IT 好き放題：Real time から Right time 通信へ…………… 10-3- []
- 特集：大学発 ICT ベンチャー
1. 大学発 ICT ベンチャーの現状と大学発ベンチャーの課題…………… 10-4- []
 2. 人間の外化と社会経済システム…………… 10-5- []
 3. 日米大学発ベンチャー比較論…………… 10-6- []
 4. 大学発ベンチャーの挑戦…………… 10-7- []
 5. 大学発ベンチャーを始める前に…………… 10-8- []
 6. 大学発ベンチャーことはじめ…………… 10-9- []
 7. 学生ベンチャーとして…………… 10-10- []
 8. ベンチャーに高揚感を求めて…………… 10-11- []
 9. 学生起業と企業就職を経験して…………… 10-12- []
 10. 手書き文字認識の可能性にかけた挑戦…………… 10-13- []
 11. 社長であり続けること…………… 10-14- []
- 古機巡礼/二進伝心：2017 年度情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式…………… 10-15- []
- べた語義：IR 業務から見る大学のデータに潜む断層と亀裂とは…………… 10-16- []
- べた語義：クリエイティブコンフィデンス醸成に向けたアイデアソン/ハッカソンの活用…………… 10-17- []
- べた語義：第 2 回シンポジウム 2025 年度高校教科「情報」入試を考える…………… 10-18- []
- ピブリオ・トーク：サイバー・インテリジェンス…………… 10-19- []
- 5分で分かる!? 有名論文ナナム読み：David B. Johnson et al.: Dynamic Source Routing in Ad Hoc Wireless Networks…………… 10-20- []
- リレーコラム：会誌編集委員会やんわりレポート…………… 10-21- []
- 会議レポート：日本デジタル・ヒューマニティーズ学会 第 7 回年次大会 JADH2017 開催報告…………… 10-22- []
- 会議レポート：SIGGRAPH Asia 2017 参加報告…………… 10-23- []
- 会議レポート：Aho, Hopcroft, Ullman 3 教授による C&C 賞受賞記念講演会報告…………… 10-24- []
- 連載漫画：IT 日和…………… 10-25- []

〔11〕 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔11-1〕 良かった記事 11-1- []
- 〔11-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- 〔11-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
- 〔12-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 12-3- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 大学発 ICT ベンチャー：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <https://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会誌配布、会員特典、会費等口座振替、海外からの送金、賛助会員、電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、出版、コンピュータ博物館（情報処理技術遺産）
著作権	copyright@ipsj.or.jp		転載許可、著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読、DPレポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル/JIP/トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、研究グループ、シンポジウム、国際会議、IFIP委員会、情報処理教育委員会、ア krediteーション対応
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、プログラミングコンテスト、プログラミング・シンポジウム、協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー、短期セミナー、ITフォーラム、ソフトウェアアジア、その他講習会
認定情報技術者制度	ipsj.citp@ipsj.or.jp		認定情報技術者制度
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会、支部、選挙、総務系選奨、関連団体、アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、セキュリティ、電子化委員会、電子図書館、IPJS メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 https://www.itscj.ipsj.or.jp/

この号のリレーコラム (pp.566-567) で山本さんが取り上げてくださっているのを読んで(見て)もらえれば分かるのですが、編集会議は常にタスクに追われています。特集のアイデア出しは特に大変で、委員の口数は徐々に減り沈黙が流れ……。私は沈黙に弱く、とはいえ持ちネタはなく、ほかの委員と目が合わないようにこれまでの「お流れ特集アイデア」を眺めていたわけです。そうして偶然「大学発ベンチャー」というお題を見つけてしまいました。かなり前に提案されたのに放置されていたようで(もしもこの中で私が担当するならば) (できる可能性があるとしたら……) という心の声が、沈黙に耐えられず声に変換され引き受けてしまったというわけです。私の会社はまさに大学発ベンチャーで、私は役員であり現場ではコーディネータを務め、事務所では総務もやるし掃除もやる。名刺にはCFOという肩書き

がついているのですが、それが一番苦手な仕事であったりします。実際仕事をする上で、大学発でもそうでなくても特段変わりはないのですが、それ故、今回も大学発ベンチャーだと思って原稿依頼した会社が大学発ではなく、いまだに理解していないということに自覚しました。

というわけで、今回の特集が一番役に立ったのは私です。ほかのベンチャーがどのように取り組んでいるのかも今回ようやく分かりました。面と向かって訊きにくいことを特集にかこつけてお聞きしました。遅きに失するのですが、これからの会社発展のために役立てます。本当に沈黙に惑わされて引き受けてよかったという個人的な感想でした。締切がタイトにもかかわらず引き受けてくださった執筆者の皆様と、いつもながら支えてくださった編集委員の皆様にご心より感謝いたします。

(中田真城子/本特集エディタ)

次号 (7月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」 弔いと技術革新

弔いと技術革新にかかわる研究トピック/遺人形がもたらす未来の弔い/死後のデータとプライバシー/寺院のネット上における言論空間をいかに目指すか/一緒に暮らす「ロボット」が死ぬ日—「死」は、外部に依存する—/搬送式納骨堂を起点に考える寺院の未来(現代における寺院経営の在り方)/ロボットに魂をこめる

特別解説: 次世代医療としての遠隔医療と人工知能……………竹村昌敏 他
ケンブリッジアナリティクス事件とその論点……………西田亮介
自動運転車の死亡事故の背景について……………永井正夫

教育コーナー: ペタ語義

連載: IT 日和 / 5分で分かる!? 有名論文ナメ読み/ビブリオ・トーク

コラム: 巻頭コラム/シニアコラム: IT好き放題/リレーコラム

会議レポート: SIGCSE 2018 参加報告およびコンピュータサイエンス教育におけるトップカンファレンスのススメ

—世界に向けて影響を与えるために—

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A4変形判70.5kg未満 1枚)	275,000円(税込297,000円)	
差込 (A4変形判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円(税込378,000円)	
同封 (A4変形判 1枚)	350,000円(税込378,000円)	

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4変形判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地250mm×左右180mm
 1/2頁 天地120mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地280mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」59巻6号 掲載広告(五十音順)

- NHK放送技術研究所 表2対向 サイエンス社 目次前
アカリク 表3 とめ研究所 前付最終上
インタフェース 表2
すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 -) _____

TEL () - FAX () -

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp

賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルートホールディングス

Google

グーグル合同会社

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

TIC Telecommunication Technology Committee

(一社) 情報通信技術委員会

NTT DATA

NTT データ (株)

GREE

GREE (株)

Rakuten

楽天 (株)

IA japan

(一財) インターネット協会

JISA

情報サービス産業協会

TREND MICRO

トレンドマイクロ (株)

NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

NTTテクノクロス

NTT テクノクロス (株)

uejima

(株) うえじま企画

OKI

沖電気工業 (株)

SANBI

三美印刷 (株)

Septeni

(株) セプテーニ

SONY

ソニー (株)

team Lab

チームラボ (株)

Panasonic

パナソニック (株)

FORUM 8 フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

人と音楽の新しい関係をデザインする。
レコチョク

(株) レコチョク